



第6回TONセミナー

参加
無料

日時 平成30年8月1日（水） 16:00～19:30

場所 神戸市産業振興センター 901会議室

費用 無料（ただし、交流会参加者は2,500円）

第1部（16:00～17:00） いまこそ新たな海洋産業に挑むとき －技術屋の視点での海洋産業への取組ポイント－



講師：吉田 弘氏 国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）
海洋工学センター・海洋基幹技術研究部 部長

伊豆大島出身。

森に囲まれた山奥の一軒家で育ち、反動で人工的なモノに興味を抱く。20歳で高専を卒業して大手無線機メーカーに就職。29歳で「量産」に疑問をもち、理学系に転向。退職して大学院へ入り直し、35歳で理学博士。しかし、就職先がなくソフトウェアハウスで働いていたところを、JAMSTECに拾ってもらった。

入所後は海洋ロボットの開発に従事。現在は未来の海洋技術を模索する一方、産業競争力懇談会などで、新たな海洋産業の創りこみに協力している。

第2部（17:10～18:15） 神戸地域の企業による開発事例紹介 －川崎重工業株式会社、株式会社中橋製作所－



川崎重工業株式会社 『AUV開発状況と英国実域試験』

発表者：湯浅 鉄二氏

川崎重工業株式会社 船舶海洋カンパニー フェロー（潜水艦・AUV関連技術担当）

1982年4月川崎重工業（株）に入社し潜水艦設計部に配属以来、潜水艦、潜水船並びにAUV等の水中機器の開発・建造に従事。2014年4月に潜水艦設計部長、また本年4月に船舶海洋カンパニー フェロー（潜水艦・AUV関連技術担当）に就任して現在に至る。



株式会社中橋製作所 『木工用刃物メーカーの海洋産業への挑戦』

発表者：中橋 久行氏

株式会社中橋製作所 専務取締役

産業用刃物メーカー、株式会社中橋製作所専務取締役。兵庫県出身39歳。

創業より培ってきた刃物技術を活かし、「刃物開発コンサルティング」として様々な刃物開発に取り組んでいる。

第3部（18:30～19:30） 交流会

会場：神戸市産業振興センター10階レストラン「はあとす。」

参加のお申込み、各講演の詳細などは裏面をご覧ください！



講演・発表詳細

第1部 いまこそ新たな海洋産業に挑むときー技術屋の視点での海洋産業への取組ポイントー

講師：吉田 弘氏（国立研究開発法人海洋研究開発機構）

圧倒的な速度でサイバー空間が私たちの生活空間を侵食している。若者の脳は1日の1/3をサイバー空間に浸っているようだ。こんな時代に過酷な海の産業に携わろうという若手は増えるのか？

いや、日本においては若者の数自体が減っている。私たち海屋がこれから商売を続け、拡大するためには、こういった周囲状況を考えていかななくては行けないだろう。

講演では、海洋産業の現状、新たな技術、将来ポテンシャルのある海洋産業などを紹介し、日本人のメンタリティを加味したうえで、どうすべきかの個人的な見解を展開したい。

第2部 ① AUV開発状況と英国実域試験

発表者：湯浅 鉄二氏（川崎重工業株式会社）

現在開発中の海中設備保守整備用のAUVには、非接触給電システムや水中大容量通信システム等の新規開発アイテムを搭載している。AUVの短所である動力源や海上へのデータ伝送容量の制限等を補い、現在ROVが主力である海中設備の検査分野において、適用されるであろうと考えている。

発表では、このAUV開発の背景とその状況や、昨年11月に英国にて実施したプロトタイプの上陸試験状況報告、今後のスケジュールなどを紹介する。

第2部 ② 木工用刃物メーカーの海洋産業への挑戦

発表者：中橋 久行氏（株式会社中橋製作所）

産業用刃物の開発・製造技術を生かした横展開を模索する中、2016年に開かれた神戸大学の海洋シンポジウムでコア採取の刃先に自社で培ってきた刃物技術が活かせると感じ、JAMSTECを訪問。コアビットの前にカッティングシューからチャレンジさせて頂く。試作品製作・陸上負荷テストを経て、2017年10月に襟裳沖にて実地テストに成功した。

発表では、小規模事業者がこれまでの技術を活かし、海洋産業に挑戦した、ひとつの事例を紹介する。

お申込み

会社/団体名・所属・氏名・連絡先（TEL・MAIL）・交流会の出欠を下記の方法でご連絡ください。

◆メール（techno-ocean@kcva.or.jp）

◆TEL（078-303-0029）

お申込み先・お問い合わせはこちら

テクノオーシャン・ネットワーク事務局（一般財団法人神戸観光局内）

【MAIL】techno-ocean@kcva.or.jp

【TEL】078-303-0029（受付時間 9:00～17:00）